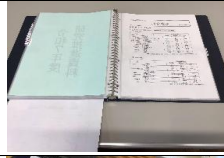
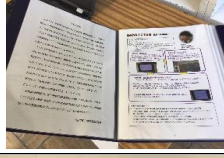
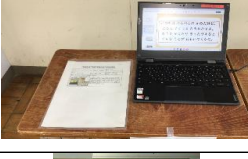


「実践記録、教材・教具の部」 入選者講評一覧（小学校）（訂正版）

No.	作品名	学校名	応募者名	教科・領域	作品の説明	写真	講評
1	熱中症のときはどうしたらいいのかな？	多治見市立南姫小学校	木村 有希子	健康教育	熱中症になってしまった時に、応急手当としてどこを冷やすとよいか、児童が自分で考えて行動できるよう、手当の練習ができる人形を作成した。保健室内に置いて、来室した児童が触って学べるようにしている。		熱中症の時に、どう対処したらよいかを具体物（人形）を使って、実際に触って体験しながら学べるところが素晴らしい。答えを散えず、体に貼ることを通して、どの部分を冷やすとよいかを考えるきっかけとなっている。
2	英単語スピード発音ビンゴ	多治見市立笠原小学校	石井 泉	特別支援 英語	児童が、身近な単語の発音をゲーム感覚で覚えられるようにビンゴゲームを作成した。自分の持っているビンゴシートにどんな単語があるかを見て、提示された単語カードがシートにあればその単語を発音する。正しく言えたらそのマスにカードを置くことができる。また、白紙のシートでオリジナルのビンゴシートを作ることでもある。		児童にとって身近な物が英単語になっており、さらにビンゴゲームになっているため、意欲的に学ぶことができる。1度使って終わるのではなく、単語カードを並び替えて繰り返し学ぶことができたり、白紙のシートを使って、自分で新たなシートを作成できるなど、子どもの実態に即して行うことができる点が良い。イラストが素晴らしい。児童の興味を強く引き付ける作品になっている。
3	研究推進だより	土岐市立泉西小学校	道下 直矢	算数	実践記録 算数科における指導方法や研究の方向性を共有するため「研究推進だより」を発行した。		複数年にわたる、研究推進の歩みがまとめられている。職員に対して、特に「指導と評価の一体化に向けた単元構想」の作成を具体的に示している点、全校研究会を受けてその成果と課題を端的にまとめている点が良い。 研推長として、研推だよりを通して校内研究を推進しようという努力が伝わってくる。
4	土岐市ICT教育実践事例集	土岐市ICT教育推進委員会	土岐市ICT教育推進委員会	その他	土岐市ICT教育推進委員会が、授業でのICT活用を市内に広げることが目的として作成した。ICT教育推進担当が各学校の先生に、ICTを有効活用する事例		土岐市ICT教育推進委員会が、2年間かけて、各学校で実践した事例をまとめたものである。市内全体へのICT活用の普及を目的としており、実践的で再現性の高い内容となっている。授業改善とICT活用の促進に大きく貢献している。
5	図画工作 1年生 「おって たてたら」 導入教材	瑞浪市立瑞浪小学校	高垣 和美	図画工作	児童が、作品のイメージをしやすいうように画像での資料を作成した。授業の導入時に画像を見ながら紙を折ったり、立てたり切ったりすることで、表現に自信のない児童も、見通しを持ちやすく、楽しく作品作りに取り組むことができる。また、授業の準備も短時間で済ませられるように、いつでも誰でも使えるような教材にした。		紙の折り方や立て方を変えたり、切ったりして、多くの参考作品を用意したことで、児童の多様な感じ方を引き出すことができる資料となっている。また、デジタルデータとしたことで、他の教員や、免外の教員も使用できる点に工夫を感じた。
6	Let' enjoy English!	瑞浪市立日吉小学校	山川 貴也	外国語	英語に親しみをもち、異文化に関心をもち、季節に合った話題の提示を作成している。 目を引くデザインの掲示にすることで、多くの児童がより気軽に英語に触れる機会を作ることができる。		児童の目を引き、興味をもてるサイズ感であり、色使いやイラストでもある。季節（月）ごとに刷新していくところからも、児童の楽しみが広がる作品である。また、ただ見て楽しむだけでなく、英語の質問にシールで回答することができるなど、誰もが楽しみながら参加できる。掲示としての色合いが少し強く感じるが、移動式掲示として教室に持ち込むことで授業にも活用できる作品である。
7	保健掲示物 「水分をしっかりとろう」	瑞浪市立釜戸小学校	加藤 優香	保健	一日の中で、具体的にいつ、どれくらいの量、どんなもので水分補給をしたらよいか、また、健康を保つために、体の中で水分はどんな働きをしているのかを、具体物を示したりクイズ形式にしたりした。視覚的に捉えたり手で触れて確認したりすることを通して、児童が水分を摂ることについて、興味関心をもてるように工夫した。		具体物を示したクイズ形式で、水分の大切さについて考えるきっかけとなる掲示である。実生活の中で、多く使われている水がいかに大切であるかについて捉え直し、自分の健康について改めて考えるきっかけが作れる作品である。